



京都大学

第15回

市民防災講座 -災害リスクを考える-

参加無料

自然災害に備える

【日時】平成29年**12月11日** (月) 13:30~16:15

【場所】福井市にぎわい交流施設 **ハピリンホール (ハピリン3F)**

司会 京都大学大学院 工学研究科 准教授 **伊豫部 勉**

J R 福井駅西口から徒歩1分

主催者挨拶

京都大学大学院 工学研究科

教授 **杉山 友康**

講演

●土砂災害はどこまで予測可能か？

京都大学 防災研究所 流域災害研究センター

准教授 **竹林 洋史**

●地形性強風の発生メカニズムの解明とその対策

-数値流体シミュレーション技術の鉄道分野における適用-

九州大学 応用力学研究所

准教授 **内田 孝紀**

●防災に向けた自然行動中の行動特性と留意点

北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

准教授 **田中 宏和**

事例紹介

●福井県における減災のための取組み

福井県 土木部

技幹 (防災・特定事業)

齊藤 重人

●J R 西日本の自然災害に対する取組み

西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社

副支社長

清水 郁夫



H16年7月福井豪雨による足羽川破堤 (福井市春日)



H25年9月台風18号による土石流被害 (小浜市忠野)

写真提供: 福井県

※講演者及び講演内容が変更となる場合があります。

【定員】 180名 (先着順・要事前申込)

【申込方法】 参加希望の方は、下記URLもしくはQRコードよりホームページにアクセスして登録していただくか、必要事項を記載のうえメールまたはFAX (裏面参照) でお申込ください。

必要事項 ①代表者氏名 ②電話番号 ③住所

④職業 (会社員(会社名) / 団体職員 / 公務員 / 自営業 / 学生 / 主婦 / その他)

⑤記事欄 (2名以上同時にお申込される場合、代表者以外の氏名、その他要望事項)

※ 個人情報保護法に基づき他の目的には利用いたしません。

ホームページURL <<http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/lab/>>

メール: info@ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp FAX:075-383-3410

【申込締切】 12月7日 (木)

【問合せ先】 京都大学災害リスクマネジメント工学 (J R 西日本) 講座

TEL: 075-383-3114 (平日 10時~17時)



主催: 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 災害リスクマネジメント工学 (JR西日本) 講座

後援: 国土交通省近畿地方整備局/福井県/福井市/公益社団法人地盤工学会関西支部/

公益社団法人土木学会関西支部/福井新聞社

協賛: 西日本旅客鉄道株式会社



京都大学第 15 回市民防災講座

— 災害リスクを考える — 12月11日(月)

京都大学災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座では、JR西日本からの寄附により、自然災害に対する鉄道や道路などの社会基盤設備の総合的管理技術、交通規制といったソフト対策技術の研究を進めています。併せて市民の皆様への防災に対する意識の向上と、避難時の行動や住民同士の協力の重要性を理解していただくことを目的に市民防災講座を企画しました。

講演

●土砂災害はどこまで予測可能か？

京都大学 防災研究所 流域災害研究センター
准教授 竹林 洋史

九州北部豪雨災害、熊本地震、広島豪雨災害など、毎年のように国内で土砂災害が発生しています。これらの土砂災害はどこまで予測可能なのでしょうか？本講演では土石流の数値シミュレーションなどの土砂災害の予測技術と土砂災害への備えの一例について紹介します。

●地形性強風の発生メカニズムの解明とその対策

数値流体シミュレーション技術の鉄道分野における適用
九州大学 応用力学研究所 准教授 内田 孝紀

現在開発を進めている数値流体シミュレーション技術(リアムコンパクト)の紹介を行います。

また、具体的な地域を対象に実施した地形性強風の発生メカニズムと、防災の観点からの対策手法について説明します。

●防災に向けた自然行動中の行動特性と留意点

北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究所
准教授 田中 宏和

異常時にどのように人が行動するかを理解するためには、自然な環境下での脳の働きを知る必要があります。近年のハードウェアや信号処理における進歩により、自然な行動中の脳波計測が可能となってきました。本講演では、運動課題や探索迷路課題中の脳波計測実験を紹介し、運動制御や空間認知の脳内メカニズムに迫ります。

事例紹介

●福井県における減災のための取組み

福井県 土木部
技幹(防災・特定事業) 齊藤 重人

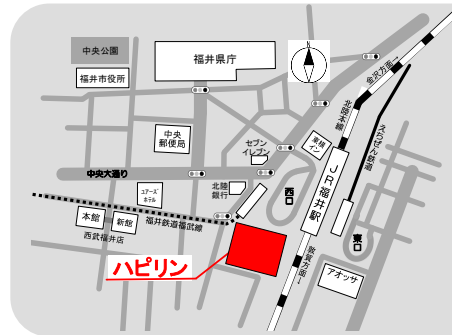
近年、記録的な集中豪雨により、全国的に大規模な水害や土砂災害が多発しています。福井県内においても平成16年の福井豪雨や、平成25年の台風18号などで甚大な被害を受けました。これらを踏まえた福井県における水害や土砂災害から命を守るための取組みについて紹介します。

●JR西日本の自然災害に対する取組み

西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社
副支社長 清水 郁夫

近年豪雨災害が増加する中、鉄道においても土砂災害をはじめとする防災への備えは重要となっています。これまでの災害事例を振り返るとともに、災害を未然に防止するための防災対策や、被害を少なくするための運転規制、防災に関する各種の取組みなどの当社の事例について紹介します。

自然災害に備える



会場
福井市にぎわい交流施設
ハピリンホール(ハピリン3F)
〒910-0006
福井県福井市中央1丁目2-1
(JR福井駅西口から徒歩1分)

FAX申し込み用	①代表者氏名	(フリガナ) (氏名)	②電話番号	
	③住所	〒 ー 都道府県		市区町村
	④職業	該当する職業を○で囲んでください。 1.会社員(会社名:) 2.団体職員 3.公務員 4.自営業 5.学生 6.主婦 7.その他()		
	⑤記事欄	2名以上同時にお申し込みの場合は、こちらに氏名、フリガナ、職業をご記入ください。		
	※ 個人情報保護法に基づき他の目的には利用いたしません。 FAX : 075-383-3410			